

令和7年度防府市人権学習推進市民会議 【総会の部】

日時：令和7年7月28日（月）

午後1時30分から午後2時まで

会場：笑顔満開通り アスピラート 3階音楽ホール



令和7年7月28日（月）午後1時30分から笑顔満開通り アスピラート3階音楽ホールにて令和7年度防府市人権学習推進 市民会議総会・講演会が開催されました。

【総会・講演会次第】

- 1 開会のことば
- 2 防府市人権学習推進市民会議会長 挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 総会の部
- 5 講演の部
- 6 閉会のことば



日時：令和7年7月28日（月）
午後1時30分から午後3時30まで
会場：笑顔満開通り
アスピラート 3階音楽ホール

令和7年度防府市人権学習推進市民会議 【講演の部】

日時：令和7年7月28日（月）

午後2時から午後3時30分まで

会場：笑顔満開通り アスピラート 3階音楽ホール

【人権全般】

演題：障害児者の人権について～発達障害の支援を通して～

講師：山口大学 名誉教授 木谷 秀勝 先生

障がい者の人権について私は、もっともっと知識を増やして、様々な方の不安や悩みを一緒に考えられるようになりたいです。
(参加者アンケートより)

1 「障害」について①

「障害」を丁寧に見ていくと様々あります。「障害」という言葉には Impairment（欠損）、Disability（機能不全）、Handicap（社会的不利益）の3つの定義があります。日本ではこれらの言葉を一括りに「障害」という言葉で表現していますが、そのサポートも違うということを知ってほしいと思います。しかし、発達障害に対する Social Stigma（社会的偏見）があり、当事者達が苦しんでいる姿が日本でも見られます。

講師 木谷 秀勝先生のお話より

1 「障害」について②

「障害」を理解する時に危険なことは正しい理解がないまま偏見を持ってしまうことです。皆さんにお願いしたいことは、「わからないことをわからないままですら終わらせず、誰かに聞く」ということです。私たち支援者はいつも当事者に答えを聞いています。わからないと言える勇気を持つことは、障害の理解だけでなく、全ての人の人権を守る上でも大事なことだと思います。



2 多様性ある生き方(基本的人権)について

私が考える基本的人権は一人ひとりの自分らしさが保証（尊重）されている環境であり、自分らしさが表現できる環境、自分らしさを自己決定できる環境だと考えています。例えば国政選挙の投票等、環境が整えられてきていますが、課題もあります。当事者はその課題を自分から言うことが難しいため、私たちの方から「一緒に考えていきましょう。」と一歩前に歩み出す勇気をもってほしいと思います。

3 これからの支援の方向性: Well-beingに生きる

厚生労働省の定義では、Well-beingとは「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること」とあります。この定義で私が大事だと思っているところは自己実現です。自分らしさが発揮できること。それは、自閉症らしさ、ADHDらしさ、子どもらしさ、こういったことも自己実現に入ってきます。自己実現は頑張ってできるものではなく、お互いが尊重し合うことから育まれます。障害のあるないに関わらず、一人ひとりの特性を理解し、人権の問題をこれからも考え続けてほしいと思います。

市民セミナー参加者アンケートより

- 普段忘れがちな人権について改めて考える機会を頂きました。自ら関心を持ち積極的に関わっていく事が必要かと思いました。
- 「自分らしさ」が保障される環境づくりの大切さがわかった。われわれから一歩前に出る勇気、「教えてください。一緒に考えていきましょう」と言える自分でありたいと思った。
- 「人権」について改めて基本に戻れた一日でした。明日からの支援の一日一日を丁寧に大切に行っていこうと思います。

《感謝の言葉の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》